

重要取組シート

財政局 財政部 財政課

取組項目		予算編成のあり方の見直し
現状・課題		<p>少子高齢化・人口減少社会の急激な進展により、社会保障関係費の増加や市税収入の確保が今後の課題となる。</p> <p>また、平成28年2月に策定した中長期財政収支見込では、阪神高速大和川線事業や公共施設の更新など大型事業が集中することから、平成31年度は大幅な収支不足となる見込みである。</p> <p>こうした状況の中、予算編成のあり方を見直し、持続可能な財政運営を進めることが必要である。</p>
取組みの内容		<p>○他市の予算編成における手法等の情報収集及び検討 他市の予算編成の手法を調査し、本市における効果的な予算編成のあり方を検討する。</p> <p>○効果的な予算編成の実施 施策・事業の進捗状況、課題、効果等を踏まえ、限られた財源の中で増嵩する歳出を抑制し、重要な政策課題に重点的に支出するなど、新たな手法による予算編成に取り組む。</p> <p>併せて、自主財源の確保を図るため、ふるさと納税の取組等を推進する。</p>
スケジュール	前期 (～7月)	□他市の予算編成手法の情報収集及び検討 (～7月)
	中期 (～11月)	□新たな手法による予算編成の開始 (11月)
	後期 (～3月)	□平成31年度当初予算案の策定 (2月)
	31年度以降	□平成31年度の予算編成を踏まえ、より効率的・効果的な予算編成手法を検討していく。

進捗の状況	前期 (～7月)	□神戸市を視察、予算要求の上限設定など予算編成手法の情報収集を実施(5月)、制度設計について、検討中
	中期 (～11月)	□義務的経費を除いた一部の政策的経費及び事務的経費等について、予算要求の上限を設定。各局は施策・事業を見直したうえで予算を要求。(10月)
	後期 (～3月)	□シーリングにより生み出した財源を活用し、市民サービスの向上に資する新規・拡充事業に予算を計上。(2月)